

質 問 書

入札物件名 本庁舎 ZEB 化改修工事
入 札 日 令和 8 年 2 月 2 0 日

記

質問内容

1. フロン回収・処分量

工事設計書の P46 にフロン回収費、フロン処分費の項目があります。
既設マルチエアコンの各系統のフロンガス封入量の情報をご提示ください。

2. 2 階・3 階天井裏への全熱交換ユニット設置

全熱交換ユニットの参考品番機器 LGH-N100RKX2D-60 ですが、本体の寸法が W=1231、
H=404、L=1465 と大型で、天井裏への入口の点検扉（H=1200、W=600）を通すことができません。
また、点検扉の設置場所が狭所で、点検扉までの搬入も困難な状況です。
機器の天井裏への搬入方法のご提示をお願いします。

3. 天井改修の使用材料について

本工事は、空調冷媒配管も更新対象のため、工事範囲ほぼ全域が天井撤去、改修範囲となっていますが、図面、内訳書共に具体的なボードの仕様の記載がありません。
追加資料として役場新築時の竣工図の資料を頂きたいです。

4. アスベスト調査

設計書 P48 にアスベスト調査費の項目がありますが、具体的な分析調査が必要となる数量をご教示お願いいたします。
天井、壁、床、設備、配管、工作物などが調査対象となると見受けられます。
指定がない場合は、入札者により調査対象箇所が大きく異なることが想定されます。
改修工事対象箇所に実施した過去の石綿分析調査の結果などがあればご提供ください。

回答

1. 設計においては、既存図面および現地確認を基に回収業者へ見積徴収を行い、冷媒回収量は総量約 270kg を想定しております。
ただし、実際の封入量は機器个体差・配管延長等により変動するため、回収証明書に基づき確認するものとします。

2. 当該全熱交換ユニットは省エネ化に寄与する機器の参考品番を例示しているものであり、同等品可としております。既存設置位置への更新を前提としており、搬入経路については既存開口部の活用や必要に応じた一時的な開口措置等により対応可能と想定しております。
本工事では直接仮設費を計上しており、当該工事費に計上している直接仮設費の範囲内で施工計画を検討してください。

回答

3. 天井復旧については、既存と同等仕様（軽量鉄骨下地＋化粧石膏ボード t=9.5 1枚張り仕上げ）を想定しております。

解体範囲および数量については、公告図書に示す内容を前提として積算してください。

4. 本工事は改修工事であり、関係法令に基づく石綿事前調査の実施を前提としております。

過去の石綿分析調査結果については、町においても保有しておりません。

設計では改修対象範囲における代表的な仕上げ材（天井材、外壁穿孔部周辺材等）を想定しております。

実際の調査対象箇所および検体数量については、工事着手前の事前調査結果に基づき確定するものとします。